

2006年2月24日

ガスバリアーフィルム原反事業の譲渡について

住友化学株式会社  
日本エコラップ株式会社  
ユニチカ株式会社

住友化学株式会社（本社：東京都中央区、社長：米倉弘昌、以下「住友化学」）、日本エコラップ株式会社（本社：東京都中央区、社長：小田康博、以下「日本エコラップ」）並びにユニチカ株式会社（本社：大阪府中央区、社長：大西音文、以下「ユニチカ」）は、今般、住友化学が開発し、日本エコラップで製造販売しておりますラミネート用ガスバリアーフィルム原反「セービックス®」（SEVIX®）事業を、2006年4月1日を目処にユニチカに譲渡することで合意いたしましたのでお知らせいたします。

「セービックス®」は、高靱性有機高分子にガス遮断性無機物を、ナノコンポジット化技術で分散させたバリアー層を有するハイバリアーフィルムであり、2001年の上市以降、その高酸素遮断性から、菓子類、畜肉・水産加工品などの食品包装分野向けに出荷を拡大してまいりました。しかし、日本エコラップと住友化学は、コスト面を始めとした競争の激化のもとで同事業の一段の飛躍を期すには、フィルム原反からの一貫生産体制の確立による競争力強化が望ましいと考え、一方、セービックス原反であるナイロンフィルムおよびポリエステルフィルムの製造メーカーであるユニチカは、バリアーフィルムのラインアップの拡充によりフィルム事業の一段の強化を図りたいとの意向を持っておりましたことから、ここに三社の思いが合致し、本事業の一層の発展、強化を期して、ユニチカへの譲渡を決定した次第であります。本事業は、今後ユニチカの新たな体制の下で引き続き「セービックス®」として製造販売してまいります。これまで同様ユーザー各位のご要望に応えつつ、製品の改善にも努力してまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、日本エコラップにつきましては、経営資源を主力事業であるエコラップシュリンクフィルムへと集中し、運営の効率化を図るとともに、同事業の一層の発展を図っていく方針でありますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以 上

本件に関するお問い合わせは

住友化学株式会社 IR・広報部	TEL:03-5543-5102
日本エコラップ株式会社 東日本営業部	TEL:03-5543-5805
ユニチカ株式会社 社長室 IR・広報グループ	TEL:06-6281-5695

《参考資料》

【日本エコラップの概要】

- |         |                       |
|---------|-----------------------|
| (1)社名   | 日本エコラップ株式会社           |
| (2)設立   | 1994年12月              |
| (3)本社   | 東京都中央区新川2-27-1        |
| (4)社長   | 小田 康博                 |
| (5)資本金  | 300百万円                |
| (6)出資比率 | 住友化学(株)50%、大倉工業(株)50% |
| (7)事業内容 | 特殊機能性包装材料の製造、販売       |
| (8)従業員数 | 約50名                  |